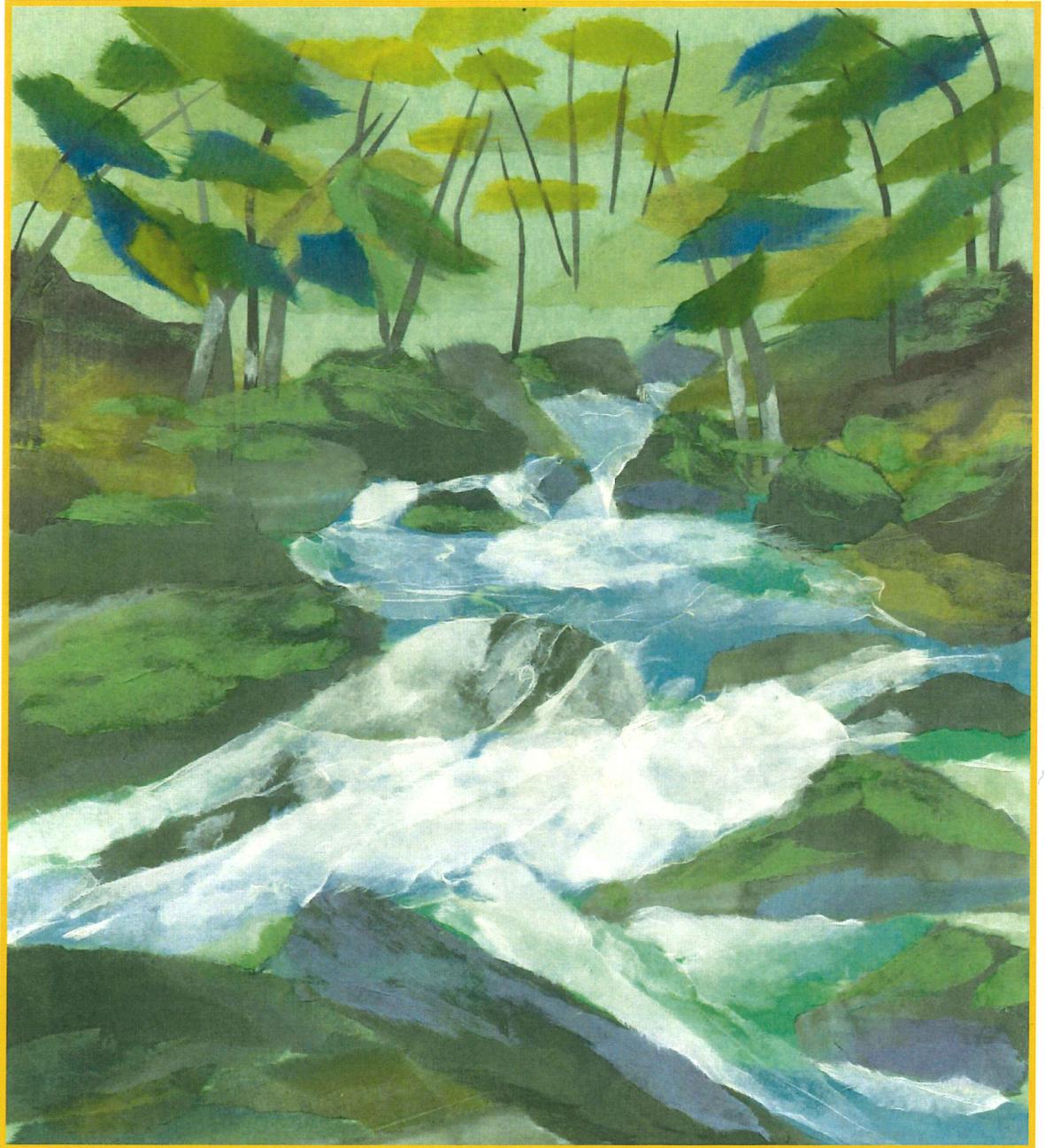




全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第67号(令和元年7月号)



緑陰の溪流白く波躍り
(直人)

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之
〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内
TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459
Mail:center-office@shijyuku.net

理事長 仲野十和田
TEL03-3963-5572
広報部長 大住 明敬
TEL048-957-8608

理事長コラム

理事長 仲野十和田(ナカジユク・東京都)



小田和正のコンサートへ行ってきました(初)。知人が都合が悪くなって行けなくなったということで、チケットを譲ってもらいました。御年71歳、3時間、31曲を、ギター&ピアノを弾きながら、さいたまアリーナを歩きながら、走りながら、階段を登りながら…唄いました(実は、2夜連続公演)。会場からは「長生きしてー」という若い声援が…。一般的にコンサートでは歌詞が聞き取りにくいこと多いのですが、大きなテロップで流れ、それを味わう余裕もあるので、一緒に行った娘は、ほぼ初めて聴いた曲でしたが、良かったようです。年を重ねても必要とされ、愛される「じいちゃん」になりたいと思った一晩でした。

話は変わりますが、私は教育に生産性を求める国の政策に、些か違和感を感じていたのですが、その考えが少し変化してきました。

先日、デジタルハリウッド大学大学院の佐藤昌宏教授の話の中で、“eポートフォリオ”の説明がありました。「学びの蓄積」という意味ですが、どんな学習をしてきたか?それによってどんな成果を出してきたか?をしっかりと把握していけば、最適な学習環境が獲得でき、指導法の改善ができるというものです。優秀な指導者なら、生徒一人ひとりの情報を把握し、適切な指導を行うことも可能でしょうが、マンパワーには限界があると思います。一方、何年にもまたがる学習履歴があるので、将来的にはこのデータを元に入試に代えてくる大学も出てくると思います。大学側としては、たまたまやっていた問題が出たとか、数年前の京都大学であったようなカンニング事件などを防ぐことができるからです。そして、その信用性は、仮想通貨などで使われている「ブロックチェーン」という保証システムで担保されるようです。

塾にデジタルコンテンツが入るとき、そのコンテンツの良さに気を引かれ、実際に運用がうまくいかず失敗した方は、たくさんいらっしゃると思います。私もその一人です。それは、コンテンツに頼り過ぎた部分が多く、どう使うか?どう記録として残しておくか?そして、どう指示を与えていくか?という部分が、弱かったのではないのでしょうか?最近では、使っているコンテンツを結び付け、学習履歴にするものも出てきているので、記録を残す作業はテクノロジー任せにできそうです。大切なのは、「しくみ作り」だと思います。教材(コンテンツ)選択を始め、その生徒の環境を把握&提供し、適切な指導(教えるのではなく導く)を行っていくことが大事になります。また、その生徒の家庭学習まで含めた学習データがあるので、保護者対応も説得力のあるものができます。「教えること」に固執していない方にとっては1つの方法でしょう。

最近、アメリカではOnLine大学が人気で、合格率が1.9%のところもあるようです。もちろん、OnLineによる授業ですから、学校へ行くことはありません。ただ、スクーリングの課題では、「ガンジス川の船の

上で感じたことをメールで送る」など、ユニークなものがあるようです。ネット社会になると、コミュニティー障害が懸念されることがありますが、ここまでインターネットのインフラが起これば、使えない方がコミュニティー障害になりかねませんか?現に、オリンピックの入場券はネットでしか発売されませんでした。私もはなから面倒くさい感じがして、「たくさん取った人から分けてもらおう」と思い、チャレンジしませんでした(笑)。結局、ご存知の通り、あまり当たっている人はいず、手に入っていない状態です。

話を戻しますが、教育の中に、人間力やキャリア教育を考えるとさえ、デジタルコンテンツは使いかた次第だと思います。使わないまでも、知っておくことは大事だと、デジタル苦手の私でさえ感じています。そして、今後積極的に使うかどうか、現在思案中です。

もちろん、昔ながらの授業を行いながら、未だに生徒募集に困っていない方々も、私の尊敬する先生方に多くいるので、それはそれで素晴らしいと思います。

小田和正を初めて聴いたのが今から約40年前。その歌をこの年で聴いても、感動しますが、コンサートの魅せ方は変化していきます。目まぐるしく社会が変わっていく中、「不易流行」…変えるものと、変えてはいけないものを見極めが大事ですね。

最後に、夏休みを前に各地で自然災害のニュースが飛び込んできますが、全国の皆様が安全な環境で過ごせる夏でありますよう、願っております。

昨年、エリア四国(高知)忘年会の翌日に行った「大正市場」での鰹の味が忘れられず、6月9日、エリア四国研修の翌日、田中宏道さん、鈴木学さんと共にレンタカーを飛ばして再び行って参りました。近くの海で靴下を脱いで中へ入り出した、宏道兄さん。いつまでもこの童心を持ち続けてください。

大正市場の一番奥にある、「田中屋商店」は、お店で選んだお魚をその場で裁いてお刺身に、タタキは店の裏で藁の火で焼いて出してくれます。味は感動ものです!



エリア通信



エリア中国 西本 雅明 (パワーゼミ西本・広島県)

中国エリアの7月定例会は福山地区開催が恒例です。今年は「学習サークルTerra」の福山教室を会場に幼児教育について研修をします。「学習サークルTerra福山教室」は幼児教育を実践している教室です。その運営方法を含めて幼児教育の状況を学びたいと思っています。学習塾はかつて小中学生の学習指導が中心でしたが、今では映像教材を使ったりしながら守備範囲を高校生へも広げています。さらに不登校児童生徒を預かったり公設民営の塾を運営したり、小学生への英語指導やプログラミング講座など、学習塾の間口はますます広がっています。そのなかでも幼児教育は特別なノウハウを必要とする分野ですから、しっかり勉強したいと思います。研修会後は広島県立博物館へ行きます。そこでは水害で忽然と消滅してしまった港町「草戸千軒」の勉強をします。「草戸千軒」は、芦田川（福山市）の河口付近に栄えた中世の街です。災害によって町が消滅した共通点から「東洋のポンペイ」と呼ばれることもあります。

11月10日は忘年会を兼ねて福山市鞆の浦での研修会を計画中です。まだ未定ですが「電子マネーを塾の中へ」のような内容で、講師を物色中です。クレジットカードや交通系ICカード、携帯電話のアプリを使った決済など、塾の支払いに使えるのかさえ分からない状態ではいけないと考えています。僕は外食時にはカードで支払いたいと思っています。「カードは使えますか？」と聞いて、「カードは扱っていません。」と言われたら、ちょっとがっかりします。塾でもそんな時代が来るんじゃないでしょうか。企画が決定しましたらお知らせしますので、ぜひお越しくください。



エリア四国 丸橋 俊行 (丸橋塾・香川県)

「発信力」

先日、岐阜県から、塾を経営する先生が私の塾においでになりました。その先生とはツイッターで知り合い、ツイッター上でやりとりをするうちに意気投合した次第です。その先生は大学在学中にスカイプを使った指導で起業し、その後、縁もゆかりもない岐阜で20歳台前半で教室を構え、ほんの数年で現在3教室を運営されています。指導力もさることながら、マーケティングや自己のブランディングに長けていらっしゃいます。

その先生からいろいろと話をお聞きする中で心に刺さる言葉がありました。

「地方の優秀な塾の先生方は圧倒的にビジネス戦闘力が足りていません。」

ビジネス戦闘力と一言と言ってもいろいろな意味があると思いますが、私はその時にまず浮かんだのは塾の情報発信力のことでした。

私は香川県在住ですので、うどん屋にたとえてみましょう。香川にはうどん屋が山ほどあります。私にとっては全然おいしくないチェーン店がどんどん店舗数を増やしお客を集める一方で、昔からある丁寧なうどん作りのおいしいお店は少し元気ない所が多いような気がします。なぜでしょうか？その一つの原因はお店の情報がSNSで発信されているかどうか、だと思っています。また、若い職人ほどツイッターやインスタで自分のお店の情報を発信しています。

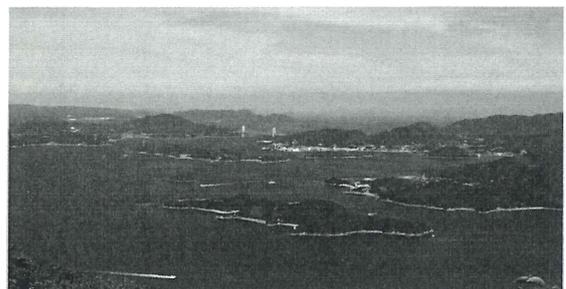
これと同じ事がわたしたち塾人にも当てはまると考えています。どんなに素晴らしい指導をしていたとしても、それが外部に発信されなければ集客につながりません。特に学習塾という業界は内部が見えにくいのです。新聞の折り込みチラシの効果が年々薄れ、町のフリーペーパーが廃刊になる昨今、わたしたちはどうやって自塾の素晴らしさを外部に発信していけばいいのでしょうか。

ホームページも一つの手段です。しかし情報の鮮度や拡散力においては、ツイッターやインスタに負けてしまいます。私自身が飲食店などを探す時を思い出しても、お店のホームページなど今は見ません。まず検索するのはグーグルマップとグーグルマイビジネス、そこからツイッターやインスタです。もし自分が親として塾を探すとしたら《善通寺 塾》で、まずは検索するでしょう。

SNSを使って塾の情報を集める生徒あるいは保護者の方々は今後ますます増えていくでしょう。わたしたち塾人は指導の素晴らしさはもちろん、そのような需要にもこたえていく必要があります。そして、そうでなければ生き残れないかもしれません。

ここ1カ月間でも「ツイッターを拝見して、体験を申し込むことにしました。」というお電話を2件いただきました。とはいっても、私もまだまだ初心者です。ここ2年ほどツイッターに力を入れておりますが、お母さんや生徒さん本人は圧倒的にインスタグラムのユーザーが多いのです。自塾のインスタも早いうちに力を入れていかなければと思っています。

指導力に加えて発信力を求められている時代であると遅らせながら痛感しております。





エリア東北 村戸 公博 (あおば伸学塾・青森県)

新入会のご挨拶

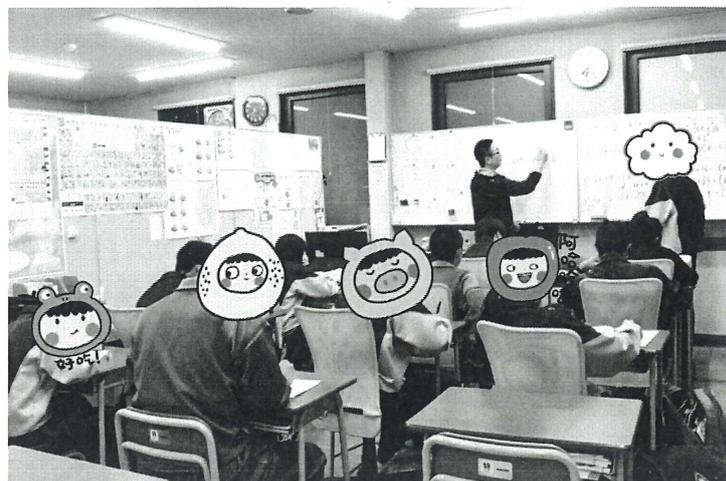
こんにちは。この度、4月より私塾ネットに入会しました『あおば伸学塾』、塾長の村戸公博(むらとときみひろ)と申します。青森県八戸市にて、小さな塾を私一人でやっています。開塾して2年と少々、まだ間もないですが、自分の信じる道を歩みながらそれについてきてくれる生徒たちを大事に、日々なんとかやっております。

せっかくですので自塾の紹介を。

小中高生対象で、メインは中学生の少人数教室授業。小学生は個別授業、高校生は映像授業「ブロードバンド予備校」で対応しています。その他、「みんなの速読」「みんなの速読英語」「オンライン英会話」「eduplus+」など様々なコンテンツを駆使し、ひとりひとりに必要なプランニングを提案しています。人数こそ少ないですがアットホームな環境で、生徒たちの夢を応援するコーチとして日々奮闘。充実した楽しい毎日です。

私自身の簡単な自己紹介といたしましては、八戸市生まれ八戸市育ち。県立八戸高校卒業後、東京理科大学理学部化学科に入学し、上京。大学時代は塾講師や家庭教師のアルバイトに明け暮れ、卒業後は神奈川県STEPに入社。この道一筋の私にとってこの上ない最高の環境でしたが、諸事情により八戸に戻ることに成り退職。戻ってからも仕事に就くも、自分の理想の教育を叶えるためにと独立を決意。2017年3月、あおば伸学塾を開業。このような経歴を経て今に至り、今年31歳になるところです。

これまでの経験で、この仕事において大切な「基本」はたくさん学ばせていただきました。関わった多くの方々に、本当に感謝しなければなりません。しかし時代の流れが変化する中で、自分の中での常識、持っている知識、意識の部分をどんどんアップデートしていかなければ、何か周りとは別の方向にベクトルが向いてしまうのではないかと。そのとき本当に必要な物事を見失ったり見誤ったりするのではないかと。自分ひとりで自分の塾を切り盛りしている



からこそ、そのような怖さがあります。

実は昨年、私塾ネット東北代表の安藤先生のお誘いで、私塾ネットエリア関東・エリア東北合同懇親旅行に参加させていただきました。初めての江の島観光、そして茅ヶ崎のSTEPのシーサイド・ラボでの懇親会。それが初めての会参加だったのですが、たくさんの先生方とお話することができ、初経営者としての不安を聞いていただいたり、皆さんの体験談やアドバイスをいただいたりと、入会前にも関わらず温かく迎えていただき、本当に素敵な懇親旅行となりました。帰ってからはモチベーションが違うというか、たくさんの先生方に触発されてとてもやる気がみなぎっていたのを覚えています。

自塾に閉じこもっているのではなく、視野を外に向けていろいろな世界を知る。いろいろな方々との交流で、自分では知りえなかったことを知るきっかけになる。そしてまたより知りたいと思う。そうだ、自分も私塾ネットに入会しよう……。

そういった経緯があり、今回新会員として入会させていただきました。

いろいろなエリアの経験豊富な先生方と情報交換をさせていただく中で、これからの教育、子供たちの未来、変わる社会、それに対して私たちができることなどについて、多く学ばせていただきたい。そしてただそのような情報を受けるだけではなく、勉強会に足を運んだり情報発信していったりすることで微力ながらも会員の一人として、この会を盛り上げていきたい。そう思っています。

未熟者ではありますがこのような気持ちではおりますので、どうぞよろしくお願いいたします。会などで見かけましたらお声をかけてくださると嬉しいです。簡単ではありましたが、新入会のご挨拶とさせていただきます。





エリア関東 渡辺 浩 (渡辺塾・東京都)

6月27日(木)に東京都教育委員会のHPで平成31年度都立高校入試学力検査結果が発表されました。毎年この時期に発表されるのですが、個人的な希望を言えばもう少し早く出せないものかなと思います。今回はこの結果について、特に国語に注目して個人的な考察を書かせていただきます。

まず平均点ですが、毎年7割ぐらい。今年は71点と昨年より5点UPしています。そして、各問題の正答率ですが、「漢字」から見ていきます。漢字は毎年読み書き共に5問ずつ出題されますが、31年度では読みが72.6%に対し、書きが78.6%と読みよりも書きの方が高いのです。おそらく考えられる事は、漢字の練習は書きばかりで、読みはしっかりと準備していない生徒さんが多いのではないのでしょうか。1問2点なので3個、4個間違っただけでかなり足を引っ張ることになります。続いて文章問題ですが、毎年小説が1題、説明的文章が2題出されます。(論説文と古典に触れた評論文 or 対話文)

これも、小説の方が説明的文章より正答率が高そうに感じるとは思いますが、実際は論説文が一番正答率が高いです。さらに、この論説文には毎年200字の記述問題が出題されるのですが、この作文が一番正答率が高いという面白い結果が出ています。これはおそらくですが、学習塾がこの記述問題に対してしっかりと対策を行っている事が考えられますし、さらには都立高校側の採点の甘さもあると思われま。上位校は別ですが、中堅か

ら下位校は相当甘く採点しているのではないかと推測します。

ここまで国語について個人的な見解を述べさせていただきましたが、31年度入試の可否の決め手になった教科は『英語』だと思います。その理由は、30年度入試の平均点が68点だったのに対し、31年度は54.4点と15点近く下がりました。実は30年度入試の英語ですが、非常に問題が易しく、得点分布で96~100点の人数が一番多かったという稀に見る結果でした。おそらくその反省から31年度は問題を難化させ、結果得点分布も20点から90点の間でばらけてしまいました。

当たり前の事を述べさせていただきますが、入試の場合、問題の出題傾向をしっかりと見極め、そしてその対策をしっかりと行うという受験の鉄則を守ることが得点に繋がっていくわけです。夏期講習も目の前です。目の前の生徒さんを全力でサポートしていきましょう。



「私塾の歴史資料館」資料のデジタル化とホームページ

坂田 義勝

(埼玉県私塾協同組合理事長・
私塾の歴史資料館ホームページ作成委員本部長)

平成28年3月16日(水)、調布学園の地下1階に「私塾の歴史資料館」が開館したことは、すでにご承知の方も多いと思いますが、この度同資料館のホームページを立ち上げることとなりました。蔵書及び写真を逐次データ化し、皆様に様々な情報を提供できるよう努めて参ります。私塾の歴史を綴った蔵書は約10,000冊、それを裏付ける写真やアルバムは50,000枚を超えます。中でも「学習塾百年の歴史-塾団体五十年史」は、1,170ページにも及ぶ大作です。学習塾の先生方を始め、大学の先生、私立・公立の学校の先生、あるいは教育関連企業等多くの方々々が著作に携わった集大成であり、教育界のバイブルとも言えます。事実、

国内外を問わず、大学生や院生からの問い合わせや資料閲覧の要望があり、学習塾の歴史を辿る貴重な研究材料としても機能しています。

現在、「学習塾百年の歴史-塾団体五十年史」を先行してスキャナーし、ホームページ上にとり込む作業を進めております。資料館すべての蔵書や写真をアップさせるには、まだまだかなりの時間を要しますが、着実に作業を進めていく所存です。

「私塾の資料館」立ち上げ時には、多くの方々から永久会員としてご協賛いただきましたが、ホームページ上でも、そのまま継続して閲覧可能です。新規に会員としてご登録いただく場合は、詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきますので、その節は何卒宜しくお願い申し上げます。

エリア関東恒例 ファミリーパーティー 水陸両用バスツアー！！

レポート：エリア関東総務部長 長江広紀

7月7日、雨が降りしきる中（雨男のS先生が不在にもかかわらず！）、エリア関東恒例のファミリーパーティーが行われました。

今年は、関東渾身の企画、水陸両用バスツアー。大型バスとしては最大級の乗り物。東京スカイツリーを出発し、錦糸町、亀戸などで下町情緒を楽しみました。車中から通行人に手を振りましょうというガイドさんの言葉を受けて、恥ずかしがりながら手を振ると、何人もの方が手を振り返してくれました。

そして、待ってました。水中ヘスプラッシュ！

ものすごい水しぶきを浴びて、バスは旧中川を走行していきます（最大速さ7ノット！）。船に乗っている感覚でした。陸を走っていたのが嘘のようです。

休憩した「川の駅」では足湯を楽しみました。その後バスを背景に全員で写真撮影。

ガイドさんのテンポの良い案内もあって、車中は楽しく過ごせました。

終了後は、川久保先生御用達の葉せ莉にて食事をしました。

このファミリーパーティーは、日頃塾人がおろそかになっている家族サービスをということで始まったと聞いています。今回もたくさんのご家族が参加されました。皆さん、満足されたようで、企画した我々としてはとても嬉しいです。また他団体にも声をかけた結果、NPO塾全協から山本太志先生ご夫妻も参加してくださいました。

天気は恵まれませんでしたでしたが、またこうした企画を行ってまいりたいと思います。独り身で参加した私は、夏期講習が始まる前に英気を養うことができました。夏期講習、頑張るぞ！



ガイド(昨今はアテンダントと称する)さんのたぐみな誘導で皆さん童心に戻り、「アヒルの笛」をくわえてブーブー。今回は貸し切りで行われたバスツアー、一般にはTokyo Splash Tourと言うツアーが用意されている。発着は東京スカイツリーの足元、ご興味のむきは日の丸自動車興業までお問合せあれ。



skyDuck
水陸両用バス「スカイダック」

行こう！スカイダックで東京探検

Tokyo Splash Tour

東京スカイツリーコース
大人：2,900円 小童：1,400円

のりば
とうきょうスカイツリー駅前営業所

錦糸町駅 錦糸公園 亀戸駅 旧中川 東大島駅 荒川

西大島駅 徳江聖園公園 荒川ロックウェット

東大島「旧中川・川の駅」

日の丸自動車興業株式会社

第14回 全国模擬授業大会 in 5月足利

報告: 田中宏道(千葉 LAPIS鎌ヶ谷)

全国模擬授業大会は、「チョーク一本で教育改革を」を合い言葉に日々の授業を充実させ、各教育機関の社会的使命を果たすことを目的に行われています。

「教育の成果を決定する要因」は「本人の自覚」と「先生の力量」。15分間の模擬授業を通して「先生の力量」を向上させる。これが教育改革の柱の中心であることを意識した研修の場です。

今年の本戦出場者5名は、

国語 埼玉「トーゼミ」 生田目 桂祐先生
「記述問題の解き方」
社会 愛知「野田塾」 池内 亮 先生
「近畿地方 阪神工業地帯」
数学 愛知「野田塾」 渡辺 昌宏 先生
「三平方の定理の利用」
理科 北海道東北「錬成会」木村 雄介先生
「力の合成・分解」
英語 愛知「野田塾」 高萩 一平 先生
「高1の時制」

「最優秀賞」は、数学の渡辺先生。

「三平方の定理の利用」

学生審査員の「一番受けたい授業大賞」は理科の木村先生でした。

その他「第1回NIE全国模擬授業大会」として新聞を活用した模擬授業もありました。

模擬授業大会を毎年見て感心するのは、授業内容の深さ(大人でも「へえ〜」って思える。いわゆるinterest paradime sift)、授業のわかりやすさ・おもしろさ、先生の笑顔を始めとする豊かな表情、声の大小・強弱の使い分け、板書のすばらしさなどなどです。参考にできることがたくさんありますので、みなさまぜひお越しください。



と言っても。。。毎年、エリア四国の研修会と日程が重なるんですよえ(>_<)

そして審査委員長「野田塾」の小川英範会長(当時)の講評が毎年深く印象に残ります。

1. 授業は子どもが喜ぶか？が一番大切。
学校に行っても疲れていても塾に来てくれる。やっぱり行って良かったと思われる授業が良い授業。
2. 話法。ゆっくり話すことが大切。大事なことはもっとゆっくり話す。
(1) 最初に、一番大切なことを言う。
(2) なぜなら〜 を言う。
(3) 例えば〜 を言う。
(4) 再度大切なことを言う。
以上「プレップ法」と言うそうです。

3. 大切なのは才能よりも努力。今年最優秀賞を取られた渡辺先生は、入社したては全くダメで、何事にも真面目に取り組んできた結果が今日の賞に結びついたのでと思う。

4. 全国模擬授業大会14年も続けている。その実行力、エネルギーが素晴らしい。

以上のようなお話でした。何事も続けること、ほんと素晴らしいことだと思います。

私塾ネット関東のメンバーである開倫塾、開倫研究所の主催する「全国模擬授業大会」。

私塾ネットメンバーの参加塾は、「開倫塾」、「ING進学教室」「翔英館」「創学舎」「ナカジク」「日米文化学院」「誉田進学塾」「洛西進学教室」「LAPIS鎌ヶ谷」です。

趣旨を同じくして毎年10月に行われる名古屋大会には、神奈川の「ステップ」も参加されています。今年の名古屋は10月27日(日)です。ぜひ研修の場としてご活用ください！

5月26日(日)於: 白鷗大学足利高等学校





私塾ネット四国 2019年度 研修会

日時:2019年6月9日(日) 会場:オークラホテル丸亀(香川県丸亀市)

研修会テーマ“2020年大学入試改革をもっとよく知ろう”

エリア四国広報 谷本里美



↑エリア四国代表と↓仲野センター理事長の挨拶で研修会はスタート



拝見でき、素晴らしい研修会となりました。

今上天皇が即位され、令和の時代をお祝いするかのように香川では、3年に一度の瀬戸内国際芸術祭2019が開幕しております。今回の私塾ネット四国、春の研修会には、遠方にもかかわらず仲野十和田理事長、田中宏道先生、木谷朝子先生、鎌田一郎先生、中村庸彦先生、鈴木正之先生、山本かつい先生、鈴木学氏、さらに遠方よりエリア青森から安藤水無子先生、福士明美先生など県外エリアから、職員様計10名の先生方にご参加いただきまして大変嬉しくまた、参加者全員40名の皆様のお顔を



第1部『2020年 大学入試改革、難化する数学（試行テスト マーク+記述IA平均点26.01）にどう対処する。そして、中学数学から、やるべきことは。』

代々木ゼミナール数学講師
藤田健司氏

【新テストの方向性と対策】

①社会的に数学の力が要請されている

=数学的処理能力・数学的思考（論理力・展開力・発想力・表現力）の出来る人材を育成。

②情報、統計教育の重視

=情報の3要素「収集・分析・発言」を総合的に処理出来る人材育成をする。

③事象を数理的に促し、数学的な課題、発見し問題を発見し、問題を自律的かつ統合的発展的に解決する能力の育成

=実社会では、「教わった事を覚えて使うだけ」では、通じない。新テストでは、この方向性の延長にあると考えられる。

つまり入試問題が変わらないと、教育内容が変化しない・・・が根底にある。

このように、藤田先生からは、（何を狙って新テストを作ろうとしたのか？）（どのような問題なのか？）（どうやって対策すればよいのか？）

（どのような準備をしなければいけないのか）などについて、特に数学について詳しくお話をいただきました。

近年のグローバル化や情報ネットワークの進展など、世界は急速に変化している事から、「従来型の教育で知識を詰め込まれただけの人材は、新しい時代を生き抜くことはできない。」また、「参考書の丸暗記をするような学習はもってのほか。」と言う事をまざまざと思い知らされた改革だと思いました。従来のような事態を打開する為には、小学・中学・高校の教育、大学の教育、そしてそれらを接続する大学入試を一体的に改革しようとしている新テストには、小中高校一貫で学習スタイルを維持する事を求めているのではないかと考えられます。社会的にも数学の力を要求している事とは、今後、小中の指導をしている自塾では、小学高学年から数学レベルの会話形式の問題を読みこなす為の課題が出来ました。



第2部『2020年大学入試改革、その状況と最新情報』

代々木ゼミナール入試情報室
山田正義氏

【変わる大学入試5つのポイント】

①共通テストの国・数に記述式問題が含まれる。

②マーク式問題内容も見直される

③英語民間試験が併用される。

④次試験で高度な記述式問題が増える。

⑤大学入試は多面的、総合的の評価に向かう。

変わる大学入試とその対応とは、対話して解決策をさぐる高校授業の増加では、基礎知識の確実な習得が前提であり、映像授業の活用が不可欠である。新テストを見据えた授業プログラムでは、大学生アルバイトのみによる個別指導では、限界があるのではないかと。また、読解力と記述力では小論文、現代文、論理国語受講など必要性が出てくる。英語の発信力として、英検対策、プロダクティブスキル対応授業の提案、大学（学部）と生徒とのマッチングでは、大学情報のアップデートによる信頼関係の構築などの対応が必要であるとの事のお話でした。

この度の研修を受け、私は、新テスト受験だけで終わらない。これからの社会で生きていくための必要な力、新しい大学入試は、「人物評価」では、「人間力」が求められる事と感じました。そこで、「人間関係能力」「自己管理能力」「状況判断能力」と整理されると同時に私達が出来る

事、どんな生き方をするのかを少しでも子供たちに伝え育むよう支援したいと思いました。

第3部では、副理事長、湯口先生のご進行のもとで、何年かぶりにお会いしました懐かしい先生方のお話をお聞きする中で、これから取り組む課題とその対応を考えねばならないと痛感いたしました。皆様の元気そうなお顔と吉凶報告など直接声が聞けるのもこの研修の素晴らしいところの一つですね。

懇親会では、丸橋先生と山本先生（二人の意気の合った）司会のもと少し遠慮したようなお話ぶりは、新鮮なものであり、パンダの目隠しは、面白かったです。目の前の美味しい料理を召し上がりながら活気に溢れ華やかな懇親会となりました。

最後になりましたが、いつも研修では、私塾ネットの先生方からのご指導を受けながら日々勉強させて頂いている事に感謝しております。くよくよしている時もいつも手を差し伸べてくれます。今後も、日々精進する事で新しい自分を見つけ更に一歩進んで踏み出す力を持ちたいと思います。感謝。



第4回民間教育推進のための自民党国会議員連盟総会の参加報告 —過度の部活動に対する提言についての議論—

中村 直人(私塾ネット副理事)

令和元年6月25日(火)衆議院第2議院会館にて、民間教育推進のための自民党国会議員連盟 第4回総会が開催された。参加者95名。11時開会。司会は、議員連盟事務局長 衆議院議員の田野瀬太道氏。当日10時8分に内閣不信任案が提出されたため、開始時は議員連盟会長 下村博文氏の2名のみ。

議員連盟会長 下村博文先生ご挨拶

憲法26条の教育条項改正の自民党の考え、および今夏参議院選挙に立候補している某議員への応援お願いなどは紙面の関係で省略。子供らは一生懸命勉強しているにもかかわらず、社会に出ると国連によれば幸福度が先進国156国中58番目中であり、さらに労働生産性がOECD内でも下位である。これは今までの教育が実社会の中でうまく反映されていない、どこか無理・無駄があるのではないか。働き方改革とリンクして、公は公、民は民ではなくオールジャパンで一人ひとりの子供たちに向き合い、より成果・効果が上がり学力向上だけでなくこれからのチャンスをかかして行けるよう、応援して行くことを加速度的に進めていくことが重要である。

(2) わが国の教育政策に対する提言 公益社団法人全国学習塾協会会長 安藤大作氏

1. わが国の教育を取り巻く現状と課題、2. 民間教育ができること をまず話され、3. 教育政策に関する提言を3つ示された。

①多様な学びの自由化に向けた子供の時間確保(部活動に係わる指導の徹底)

子供たちが多様性を持って豊に学ぶためには、個々の理解度や将来の目標に沿って学びを自由に選択できる「時間」が必要である。中学校の部活動において指導要領では「生徒の自主的、自発的な参加により行われる」と記されているが、実際は内申書・調査書という心理的強制も働き、91.9%もの生徒が部活動に入部している(強制入部支持する教員は15.4%)。また、自主練習と称した朝練や夜練、定期テスト前や土日の過度な部活動は、子供の多様性をもって豊かに学ぶ時間を奪うだけでなく、教員にも大きな負担となっている。

文科省及びスポーツ庁、文化庁は、このように社会問題となっている部活動問題は正のため、先に「運動部部活及び文化活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を出したが、守られているか疑問である。その執行状況を調査・公表し、各教育委員会に向けてガイドラインの遵守を徹底していただくことを提言する。

②学校教育と民間教育を繋ぐICT環境整備の推進

③低所得者層等を対象とした学校外教育バウチャー支給する

時間も限られているので、本日は①の部活動の強制の実態についての報告から議論を進める。

(3) 過度の部活動の現状報告

全国コンソーシアム協議会 沼田広慶氏

千葉県における種々の運動部・文化部活動(女子バレー部・ブラスバンド部など)の生徒や家族からの聞き取り調査の結果を、国のガイドラインの資料と実際の学校の資料を見ながら具体的に話され、そのかけ離れた実態から問題点を訴えられた。また香川県や宮城県からの先生方も、地方でも同様にガイドラインが出されても一向に変わらない実態を話された。

質疑応答・意見交換いろいろ

スポーツ省審議官藤江陽子氏から、ガイドラインは、1. 過度の練習によつてのけが・障害を防ぐ、2. 部活動と生活時間とのバランスをとる、3. 教員の働き方改革との観点から制定したとのこと。都道府県レベルでは、調査をして昨年度内に方針を報告してもらおうということになっている。市区町村・学校法人レベルではまだ、浸透していない面もある。各競技団体に短時間での効率のよい指導や競技大会の上限等協力を求める。これからもガイドライン徹底を努力すること。

老朽化プールを使わず民間スイミングクラブの施設と指導を利用し、生徒・教師とも満足できる結果を出した例もあり、民間クラブとの協力を通じ、改善できる所なども探っていくことも考えてもらいたい。

学校での8時間の時間拘束の外、朝練・夜練、土日も拘束される。働き方改革のように、罰則を設けなければ旧態依然としたやり方は変わっていかないのではないか。について、国はガイドライン策定の際も議論となったが、国が地方に罰則を与えることはできない、学校の設置者に徹底してもらおうようフォローアップして行く。学校への実効性を持たせるのが課題ということは認識している。

戻ってきた国会議員の方たちも猪口邦子氏ほか今回のテーマに一言コメントを付ける。

専門家を目指すような本格部活と同好会的部活との並立が望ましい等、意見が出る。やがて、時間が来て終了となる。

[感想] 塾関係者で、過度な部活での生徒の悩みの問題を抱えたことの無い方は、ほとんどおられないと思う。疲れ切って、勉強どころではない。休んだらレギュラーからはずす、出場させない、負ければ正座、気に入らないことがあればグラウンド〇周など、練習は皆同じでも試合に出るのは一部レギュラーだけ等、指導者の意に諾々と従う昔からの悪習を改革することは、いつかはしないといけないことだった。時代の要請である。今まで父母ら個人で訴えても一向に変わらなかったのが、今回このように国に提案できることは非常に意味のあることだと思った。末端に浸透するためには、やはり部活動の実態の「見える化」が必要ではないか。生徒・教師の目安箱も必要と思われる。第三者の目があれば、権力の不合理な乱用は防げるのではあるまいか。

学習塾事例集作成 についての提案

愛媛の十亀幸雄先生より、表題の提案がありました。私塾ネットとして取り組む価値が大いにありますと考えます。

学習塾を運営して行く上での、困っていることや成功例・失敗例、色々なノウハウあるいはQ&Aなど、貴重なさまざまな体験・知識・方法を共有できれば、大きな財産になると思われまます。また、平素私塾ネットの活動にあまり参加されていないかたも、積極的に発言していただければ組織の活性化にもつながり、より良い私塾ネットになるはずです。

まず皆さんの御意見を伺いたいと思います。集まりました発言を整理して広報の次号に発表し、その次の号より具体的に実行していきたいと思ひます。

情報の入り口として、次のメールアドレスを用意しました。

gakushujuku.jireishu@gmail.com

ということで、ここへの皆さまのたくさんの御意見お待ちしております。

以上よろしく願いいたします。

私塾ネット副理事 中村直人

(提案書) 学習塾事例集作成の目的と方法 目的

学習塾における様々な問題点を、全国から拾い上げ、これを私塾ネットの組織全体の問題として扱うことは、運営や指導において、その恣意性を排除し、科学的に、また技術的に理に合ったものをつくることにおいて有意のことと思われる。全国に会員のある私塾ネットではできないものと考えられるし、当然これまでおこなってなければならなかった課題と思われる。その点で、学習塾の団体としての後進性があるとみられてもしかたがない点があり、早急に検討すべき事案である。

方法

- ①事務局にチームを作り、問題点の目次案集を作成する。同時に会員にも問題点について公募する。(2つの方法)
- ②広報誌でこれを掲示し、その解決事例は、メールで受ける。
- ③事例の1つ2つは毎回の会報誌面で公開する。(匿名も前提とされる)
- ④年度ごとの事例集を作成して1年1冊に製本し会員に配布する。
- ⑤匿名性と承諾を前提に、HPでも公開できればおこなう。

学習塾事例集 (案)

(目次)		(塾名は匿名も可とする)			
1 塾運営	①新教室の開設	事例 1	ABC塾	愛媛県	
		事例 2	DFG塾	高知県	
		事例 3	UIO塾	東京都	
	②高等部の開設	事例 1	VBN塾	香川県	
	③振替授業の実際	事例 1	POI塾	岡山県	
	④補習のやり方				
2 教務	①算数/数学	事例 1	ABC塾	愛媛県	
	①' 計算ミスの多い生徒の対処法				
	②国語	事例 1	VBN塾	香川県	
	②' 漢字学習のやり方				
	③英語	事例 1	POI塾	青森県	
	④理科	事例 1	VBN塾	埼玉県	
	⑤社会	事例 1	POI塾	千葉県	
	⑤宿題について				
3 その他	①設備	事例 1	VBN塾	徳島県	
		事例 2	POI塾	広島県	
	②自転車置き場について				
	③登下校のメール連絡の方法				
	④父母からのクレーム	種類	対処法	成功例	失敗例
	⑤近所からのクレーム	種類	対処法	成功例	失敗例
	などなど				

注：十亀先生の提案書には、先生主催の私塾実践同友会誌『実践』第5号2014年3頁～13頁からの引用が事例として挙げてありましたが、ここでは省略しました。また上の(案)も加筆してあります。

エリア関東恒例・私学情報交換会の記録その②

エリア関東の秋の恒例行事に「私学情報交換会」がある。私学の校長先生をお招きし、先生のキャリアや教育理念等を講演していただくものだ。第1回が昭和63年11月、以来31年の間、まさに平成の元号をなぞって、昨年10月に36回目を迎えた。前回に続きその②を掲載する。(編集部)

第19回平成13年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
十文字中高・永嶋達夫校長、
下司健次入試募集対策室長
関東国際高・柳川敦重理事、
藤倉秀測普通科長
江戸川取手中高等学校・竹澤賢司中学校教頭
東洋高等学校・斉藤元治校長
桜丘女子中高等学校・森保副校長

第20回平成14年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
春日部共栄中学校・宇野禎弘教頭
武蔵野中高等学校・募集総括海老沢照明先生
池原正幸先生、山口浩二先生
洗足学園大学第一高等学校・濱田正一校長
入試広報室長・佐藤慶一先生
和洋国府台女子中高等学校・太田陽太郎教頭
大成高等学校・森保先生
麹町学園女子中高等学校・村中駿博理事長、
伊藤暁教頭

第21回平成15年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
神田女学園中高等学校・梅津久昭校長、
田中聖秀入対室長
桜丘中高・安住豊教頭、品田健副校長
関東第一高・入試対策委員 副田康孝先生、
曾野和之先生
青陵中高・多々良明典理事長補佐
埼玉栄中高・佐藤仁志募集担当

第22回平成16年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
京北中高・白山高校 川合正校長、
京北白山高校 杉原米和教頭
東京文化中高・上前善勝教頭
多摩大学目黒中高・福本明男入試広報室長
文京学院大学女子中高・谷田貝秀雄教頭、
國分豊教務主任
大森学園高・総務部 尾形賢一先生、
入試広報 河嶋正先生

第23回平成17年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
国学院高・山崎雅昭先生
東洋女子高・村上精一理事長校長、
谷野真弓事務長
かえつ有明中高・小坂橋弘治教頭、
岩佐淳一先生
日本工大付属中東京工業高・大森和夫校長、
河村文夫先生

大塚勝之先生、高橋俊夫先生、
小林勲先生、草間誠次郎先生

第24回平成18年10月

池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
上野学園中高・高橋公三子教頭、
保坂繁郎募集主任
安田学園中高・福谷隆芳入試広報部長
日本橋女学館中高・服部一枝校長、
羽田野敦広報主任
望月宝入試委員
科学技術学園高・杉下俊雄副校長、
高塚聡広報室長
一居秀伸広報主任
東海大学高輪台高・杉一郎校長

第25回平成19年10月

新宿区立産業会館にて
村田女子高等学校 小石川女子中学校・
武雅裕広報主任
二松学舎大学付属高・木村誠次副校長
日本音楽高・小山久夫校長、
中野道代教頭、松本幸浩教頭
立正中高・岩永一陽入試広報
開智中・高野孝校長

第26回平成20年10月

アルカディア市ヶ谷・私学会館にて
帝京中高・金野眞行校長
自由学園・矢野恭弘学園長、
鈴木康平先生、磯地範子先生
京華学園・大橋充幸商業高校長、
今野巖広報室主任
千代田女学園中高・菅原俊軌校長、
長尾和雄主幹、福井寿主任

第27回平成21年10月

アルカディア市ヶ谷・私学会館にて
北海道芸術高・鈴木康弘事務局長
目黒学院中高・高山松三副校長、
阿部幸彦入対委員
日出学園中高・寺本郁夫理事 教頭
共栄学園中高・伊藤裕教頭
専修大学付属高・鈴木高弘校長

第28回平成22年10月

アルカディア市ヶ谷・私学会館にて
二松学舎大学沼南中高・木村誠次校長、
島田達彦広報部長
東京家政学院中高・吉田義昭校長
開智中高・関根均校長
成立学園中高・矢菅隆校務部長

第29回平成23年10月

アルカディア市ヶ谷・私学会館にて
春日部共栄中高・松宮博入試委員長
三輪田学園中高・吉田珠美校長
東海大学付属浦安中高・鮎川眞由美副校長
芝浦工業大学付属柏中高・菅沢茂校長

第30回平成24年10月

東京ガーデンパレスにて
目白研心中高・松下秀房校長
小松原女子高・富樫強校長
東亜学園高・矢野隆校長
文教大学付属中高・星野喜代美校長

第31回平成25年10月

東京ガーデンパレスにて
跡見学園中高・志村聡入試広報主任
国際学院中高・井川隆副校長
トキワ松学園中高・阿部光雄教頭
東洋大学京北中高・野中政廣副校長

第32回平成26年10月

東京ガーデンパレスにて
潤徳女子高・木村美和子理事 校長
上野学園中高・高橋公三子副校長
東京女子学園中高・辰巳順子校長補佐
開智日本橋学園中、日本橋女学館高・
青木徹理事長 校長

第33回平成27年10月

東京ガーデンパレスにて
千葉商科大学附属高校・森久人校長
独協埼玉中高・柳町道廣校長
和洋九段女子中高・橋本喜一校長
豊南高・守隨憲道校長

第34回平成28年11月

ナカジユク板橋教室にて
駿台学園中高・瀬尾兼秀理事長 校長
滝野川女子学園中高・

山口龍介常務理事 副校長
浦和学院高等学校・
中熊清次Tプロジェクト推進局長
倉成英昭特進推進部長

第35回平成29年12月

ナカジユク板橋教室にて
八雲学園中高・横山孝治中学部長
東亜学園高校・矢野隆理事長・校長
駒込学園中高・河合孝允理事・校長
同企画広報室・上妻美江先生
東洋高校・石井和彦校長

第36回平成30年12月

ナカジユク板橋教室にて
跡見学園中高・松井真佐美校長
日本大学豊山女子中高・柳澤一恵校長
北豊島中高・河村恵子校長、春日井清教頭
日本女子体育大学付属二階堂高校・
野澤澄枝校長

以上、前回まで144校の先生方の御出席をいただきました。（お名前の学校名、役職は出席当時）

NPO塾全協さんとの関わり

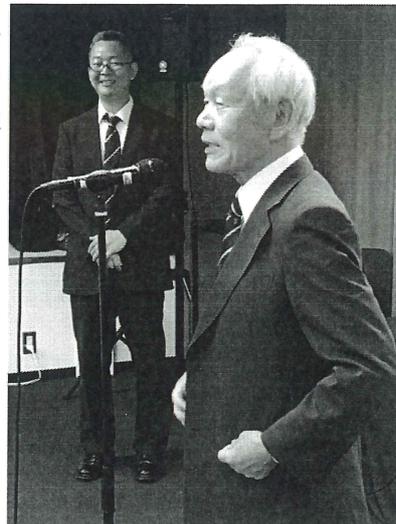
ある日、NPO法人学習塾全国連合協議会の星野重治先生からイベントへのお誘いが来ました。池袋で一度お会いし、名刺交換をしましたが、「お互いの組織で交流を深めていきましょう」との流れから、お誘いを受け、4月26日東京で開かれた「中高入試を考える会」の懇親会に中村庸彦事務局長補佐と一緒に伺いました。

星野重治先生が運営、司会をされていました。星野先生から、「私塾ネットから挨拶を」と言われましたが、私も庸彦先生も話すのが大の苦手…。お気持ちだけ頂いて、ご遠慮させて頂きました。他には、沼田広慶全国理事長、内藤潤司東日本ブロック理事長、山下典男西日本ブロック理事長のほか、稲葉先生、他団体からは玉城邦夫先生(AJC)、坂田義勝先生(SSK)、私学からは私の高校剣道部の先輩・横山先生(八雲学園)などがおられました。

終了後、星野先生から「また一緒に研修などをやりたいですね」と言われました。今後とも友好関係をつないでいければと思いました。

その後、私と庸彦先生でしっぽり飲みに行ったのはここだけの話です(笑)。

エリア関東総務部長 長江広紀(英数学院)



AJC副理事長として挨拶をされる玉城邦夫先生(私塾ネット会員)
後方が塾全協の星野重治先生

私塾ねつと誌上句会 第三十五回

草むしり根に力あり半夏生

ひきこもり暗きニュースに梅雨ごもり

中村直人

(神奈川県)

半夏生(はんげしやう)二十四節気のひとつで新暦では七月二日頃。この日の雨を半夏雨といい、降れば大雨になるとか。そういえば今年もこの日、南九州では豪雨でしたね。

初夏の田と小学生とカブトエビ

十亀幸雄

(愛媛県)

十亀さん久々のご登場。松山の方の投句で誌上句会の値打ちがあがる。さてここでも半夏生、その名称のとおり、まだこの時期は暑さに慣れていない。夏の気だるさを表現するには最適季節語。

刈り上げの土手一面の草いきれ

木内恭裕

(徳島県)

「鮎の友釣り」。鮎の縄張りの行動の習性を利用した漁法だが、人間の知恵はまことにずるいものである。三年前の六月、土佐の仁淀川を訪れたことがあつた。梅雨空の下、太公望が腰まで川につかり鮎漁をしていたのが印象的で、句心がわく光景であつた。

夏の雨異常気象の夜は更けて

長江勝秋

(神奈川県)

ジャズ演奏を筆頭に音楽活動を趣味とされていた長江さん、病氣をされてからその楽しみから遠ざかつておられ、さぞや悔しい思いをされておられるのではないかと。そんな思いで夏祭りの句を鑑賞すると、ライブ音その場ではなく、遠音として聞いている風景が見えて、より感慨が深まる。

夏を溢し凌霄花咲き乱れ

谷村志厚

(千葉県)

この時期になると凌霄花は路上に大きな花びらを散らす。そのオレンジ色の、いくらか毒を帯びた色合いは、蒸し暑いけだるさと相まって、ニッポンの夏を演出する。

編集部からお願い

次号は11月上旬発行の晩秋号です。

投句はお一人3句まで秋、冬の季節語をお願いします。

投稿はメール shiko.1949@aim-net.co.jp または

FAX047-368-2189 谷村まゆ

締切は10月末日です、ふるって「投稿ください」。

閑話休題 (編集後記) 編集長 谷村志厚

4月に私塾ネットセンターの会長職をお役御免になって肩の荷をおろしていたら、5月から6月にかけて、なにやる落ち着かぬ日々となった。

当塾には代々看板犬がいて、子どもたちの相手を務め、いたらぬ塾長を補佐してきた。初代はポメラニアンタイチ、2代目はラブラドルレトリバーのギャルソン。こいつは盲導犬を専らとする犬種だけに、まことに強力な役目を果たした。なにしろ亡くなった時には、卒塾生から花束がたくさん届けられたくらいである。

そして3代目がキャバリアのジャック。といっても千葉学習塾協同組合の名称を借りたわけではない。そのジャックが5月連休に13歳の誕生日を迎えることになった。先代の2頭が13歳の直前に亡くなるという、へんなジンクスがあつたものだから、このハードルを越えるのが連休を迎える際のテーマであつた。そしてあの10連休のさなか無事13歳となった。昔の人間の世界でいえば元服といった節目だが、犬の年齢をヒトに換算すると古希を迎えたといったところだろうか。小生が今年11月に古希となるので、ほぼ同じ年齢感覚ではなからうか。

ところが連休明けから体調を崩して始めた。否小生ではなく犬のジャックがである。行きつけの獣医へ頻繁に通うようになり、2週間もすると食事も通らず点滴注射で命をつなぐ事態となつたのである。そして5月30日、ことりとこの世を去つた。一方そのころ南米ペルーに在住する次女(有希)が、出産期を迎えようとしていた。ペルー人と結婚し京都

あるクスコに住んでいる。

クスコは大観光地であるマチュピチュ遺跡見学の出発地でもある。そこで観光ガイドをしているのがダンナさんというわけだ。この男ファーストネームをエドウィンというので、「江戸勝(まさる)」という日本名を授けている。

さてそれはさておき、ジャックが亡くなって1週間後、ペルーから「Yuki had a baby」との報がとどいた。予定日の3週間前であつたが母子ともに健やかな出産であつたとのことだ。ジャックは次女が群馬のブリーダーまで出向いて迎え入れ、当塾の一員になつただけに、彼の死と新たな生命の誕生に縁を感じざるをえないのである。

日秘(ちなみにペルーの漢字表記は秘露)ハーフの児は女の子、Korina Tokio Yanbarrena Tanimuraという名を授かつた。Korinaは丘、Tokioは東京、その後父親の姓と母親の姓が続いている。ハーフといっても両親ともにモンゴロイド系、なら蒙古斑があるかと問い合わせると、尾てい骨あたりに1円玉程度のアザがあるとの報告。ダンナは他にもいろんな血が混じっているので、蒙古斑のサイズはこんなものだろうとの珍解説があつた。

珍解説といえ、早産の秘密も披露しよう。クスコは海拔3600メートルの高地、よって気圧がかなり低い、と云うことで出産が早くなる???科学的、医学的には何の根拠もないが、中学理科の理解程度ではこんな珍解説となるのである。

さてさて、長々とこの欄を私事の話で費やしてしまつた。古希を迎えるじい様の戯言としてご容赦をいただきたい。

私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長補佐 中村庸彦(中村学院) みなさん、こんにちは！本年度より、事務局長補佐となりました。中村庸彦(なかむらやすひこ)と申します。川崎大師の中村学院にて4代目の院長として塾を開いております。

これから、よろしくお願いいたします。

先日、5月26日に行われましたNPO塾全協様の「中高入試を考える会」の懇親会にお邪魔させていただきました。他団体の行事に今まであまり参加してきませんでしたので、緊張しておりましたが、長江先生がいらしたおかげでその緊張も和らぎ、有意義な時間を過ごすことができました。さて、そこでのことでした。お隣にいらしたある私立高校の先生とご挨拶をした時のことです。まずはと名刺交換をしたところ、その方の実家も川崎、場所は小田急線の方と伺いました。川崎市は細く伸びております。当学院がある南部と、その北部多摩区の方とは距離はもちろん色々と離れております。しかしながら、私も北部の方にはゆかりがありまして、通っていた大学の最寄りが小田急沿線の普通しか停まらない駅でした。そのことをお伝えすると、なんと、その方も同じ大学。しかも、学科まで同じ、さらに、学年は1つ下。どこに縁というものが転がっているか分かりません。その偶然に少々啞然とした後は、

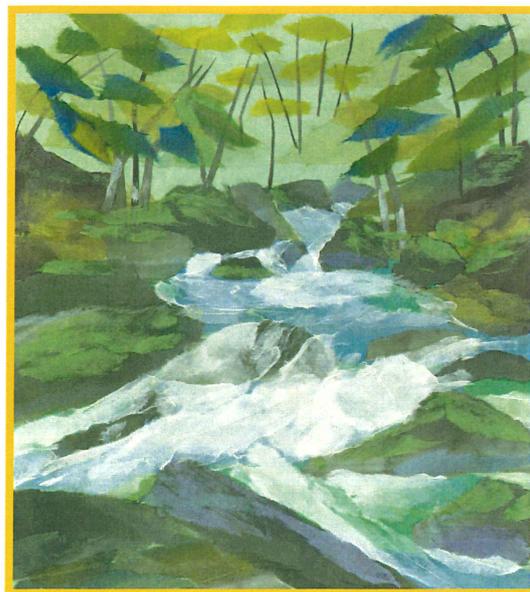
当時の厳しい教授の話や美味しかった(?)学食の話、学校の急坂の下にある雀荘の話、その急坂にエスカレーターがついた話など、久しぶりに大学のことを思い起こすことが出来ました。

5月31日には賛助会員でいらっしゃるアロー総研様主催の「第1回高大接続総会」に伺いました。秋葉原の素晴らしい立地にある会場の中には、大学のブースやグループでの討論の場が並び、セミナーには立ち見でも入りきれないほどの人が集まっておりました。少し様子を見た後、日本大学のブースにて4技能入試や今後のお話を伺いました。今後の英語教育がより実践へと向かって行っていること、それに伴い大学高校ももちろん、学習塾も変革が求められているのを強く感じられるお話でした。セミナーにて宮澤先生(私塾ネット会員・秀英ゼミSS教室)のお話(15分ではもったいない!)をお聞かせいただいた後、会場を後にしました。高校や大学の先生が数多くいらっしゃっていたのが強く印象に残っております。もっと時間を準備いたしますので、第2回、楽しみに待っています。

これから、様々な会に参加することと思っておりますので、ニコニコしたでかい男が声をおかけしましたら、お気軽にお話しただけなら幸いです。

緑陰の溪流と言え、東日本ではなにおいても青森県の奥入瀬(おいらせ)溪流を思い浮かべる。十和田湖に端を發し、焼山まで北東に約14キロにわたる奥入瀬川の溪流だ。四季を通じ様々に変貌するみごとに森林美が、訪問者を魅了してやまない。季語の緑陰は、緑の茂った木陰で涼しさを感じる意だが、溪流沿いの緑陰はなおいっそう涼しさを感じ出してくれるだろう。俳句の季語で「新緑」といえば初夏の鮮やかな緑。単に「緑」だと夏の盛りといった語感がある。「万緑の中や吾子の齒生え初むる」中村草田男の著名な一句だ。万緑の語感に逞しい生命力が秘められており、幼児の成長を詠む掲句の意にみごとに調和している。そんな評価もあつて、この句がきっかけで万緑が歳時記の一項に加わったようだ。

6月7日に南米ペルーに在住する次女が女兒を産んだ。そのお礼メールのやり取りの中に「万緑や産声届く秘露から」の一句をしのばせておいた。秘露とはペルーの漢字表記だが、秘に露、なにやら語感が怪しくて気に入っている。(志厚)



緑陰の溪流白く波躍り (直人)

ちぎり絵歳時記⑭ (溪流) 作画・中村光江

賛助会員一覧 (順不動)

関東国際高等学校	村山サトウ先生
東京都渋谷区本町3-2-2	TEL03-3376-2244
東洋高等学校	石井 和彦先生
東京都千代田区神田三崎町1-4-16	TEL03-3291-3824
桜丘中学高等学校	高橋 知仁先生
東京都北区滝野川1-51-12	TEL03-3910-6161
聖徳大学附属女子中学高等学校	川並 芳純先生
千葉県松戸市秋山600	TEL047-392-8111
麹町学園女子中高等学校	上田 翼 先生
東京都千代田区麹町3-8	TEL03-3263-3014
春日部共栄中学高等学校	宇野 禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213	TEL048-737-7611
東京立正中学高等学校	安原 正樹先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	TEL03-3312-1111
八雲学園中学高等学校	横山 孝治先生
東京都目黒区八雲 2-14-1	TEL03-3717-1196
武蔵野中学高等学校	浅見尚次郎先生
東京都北区西ヶ原4-56-20	TEL03-3910-0151
和洋国府台女子中学高等学校	広報部長 様
千葉県市川市国府台2-3-1	TEL047-371-1120
東洋大学付属京北学園	井出 秀己先生
東京都北区赤羽台1-7-12	TEL03-5948-9113
大森学園高等学校	三浦 圭 先生
東京都大田区大森西3-2-12	TEL03-3762-7336
東京成徳大学中学高等学校	野中 修也先生
東京都北区豊島8-26-9	TEL03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校	河村 文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32	TEL03-3467-2130
青稜中学高等学校	伊東 充 先生
東京都品川区二葉1-6-6	TEL03-3782-1502
東京女子学園	実吉 幹夫先生
東京都港区芝4-1-30	TEL03-3451-6523
駒込中学高等学校	河合 孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25	TEL03-3828-4141
愛国中学高等学校	高橋 英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1	TEL03-3658-4111
安田学園中学高等学校	二木 健嗣先生
東京都墨田区横綱2-2-25	TEL03-3624-2666
日本音楽高等学校	伊庭 崇 先生
東京都品川区豊町2-16-12	TEL03-3786-1711
立正大学付属立正中高等学校	今田 正利先生
東京都大田区西馬込1-5-1	TEL03-6303-7683
上野学園中学高等学校	高橋公三子先生
東京都台東区東上野4-24-12	TEL03-3842-1021
二松学舎大学付属高等学校	車田 忠継先生
東京都千代田区九段南2-1-32	TEL03-3261-9288
村田女子高等学校	遠藤 賢 先生
東京都文京区本駒込2-29-1	TEL03-5940-4455

自由学園 (中部部・高等部)	更科 幸一先生
東京都東久留米市学園町1-8-15	TEL042-422-3111
京華学園	今野 巖 先生
東京都文京区白山5-6-6	TEL03-3941-6493
武蔵野大学千代田高等学院	岡田 孝子先生
東京都千代田区四番町11	TEL03-3263-6551
目黒日大中学高等学校	天野 正貴先生
東京都目黒区目黒1-6-15	TEL03-3492-3388
共栄学園中学高等学校	松宮 博 先生
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	TEL03-3601-7136
中村中学校・高等学校	富田 義道先生
東京都江東区清澄2-3-15	TEL03-3642-8041
文教大付属中学高等学校	神戸 航 先生
東京都品川区旗の台3-2-17	TEL03-3783-5511
国際高等専門学校	松尾 多郎先生
石川県金沢市久安2-270	TEL076-248-1080
(株)創開コミュニティー	小林 和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202	TEL04-7164-6511
(株)私塾界	山田未知之様
豊島区東池袋1-39-1三善ビル	TEL03-3987-0838
(株)SRJ	板橋 玲 様
中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル9F	TEL03-6865-6380
デザインオフィススズキ	鈴木 学 様
千葉県柏市柏687-6	TEL04-7164-8276
(株)エデュケーションネットワーク	稲垣 憲之様
千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F	TEL03-5275-2101
(株)POPER	栗原 慎吾様
千代田区東神田2-1-8秋葉原クロスサイト	TEL03-6265-0951
(株)塾と教育社	加藤麻由美様
東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	TEL03-6265-6855
株式会社 ブックモールジャパン	攪上 聡 様
埼玉県戸田市市上戸田4-2-33	TEL048-447-7457
教育開発出版株式会社	糸井 幸男様
東京都杉並区下高井戸1-39-12	TEL03-3304-5321
株式会社ナイズ	佐藤 秀樹様
横浜市都筑区中川1-20-1	TEL03-3304-5321
(株)クロノクリエイト	添田 大亮様
渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル	TEL03-5468-6986
(株)声の教育社	中村 千尋様
新宿区新小川町8-15	TEL03-5261-5061
エスディーエムコンサルティング(株)	坂尻 俊樹様
調布市入間町1-31-23	TEL03-3484-1212
ソルナ株式会社	森 雅人様
中央区築地2-9-4 SOLUNABLD	TEL03-6721-1861
アロー教育総合研究所	古川 貴央様
中央区神田小川町3-8 神田駿河台ビル5F	TEL03-3259-2851